

奈良県教育委員会

週報

第2300号

平成30年9月6日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
奈良県立美術館 特別展「ブラティ スラヴァ世界絵本原画展」(小学生 以下無料)の鑑賞について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 学 校 校 長	企画管理室	1
平成31年度高等学校等進学予定者 に対する育成奨学金の予約申請につ いて	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 学 校 校 長 各 中 等 教 育 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長	学校支援課	4
平成30年度奈良県小学校理科学習 指導研究会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長	学校教育課	7
第62回奈良県へき地教育研究振興 大会上北山村・下北山村大会の開催 について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 ・ 中 学 校 校 長 各 中 等 教 育 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長	学校教育課	9
平成30年度奈良県小・中学校道徳 教育授業研究会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 ・ 中 学 校 校 長 各 中 等 教 育 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長	学校教育課	12
平成30年度奈良県中学校特別活動 研究大会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 学 校 校 長 各 中 等 教 育 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長	生徒指導 支援室	15
平成30年度中学校・高等学校生徒 指導連絡協議会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 ・ 高 等 学 校 校 長 各 中 等 教 育 学 校 校 長 各 特 別 支 援 学 校 校 長 高 等 専 門 学 校 校 長	生徒指導 支援室	17
2019年度奈良県立野外活動セン ターの利用申込(団体)について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 学 校 (園) 校 長 学校以外の各県立教育機関の長	人権・地域 教育課	19
第52回奈良県小学生陸上競技記録 会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 学 校 校 長	保健体育課	23

(次の週報は、平成30年9月20日(木)発行の予定です。)

平成30年9月6日

各市町村教委教育長 }
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

奈良県立美術館 特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」
(小学生以下無料)の鑑賞について(通知)

このことについて、10月6日(土)から奈良県立美術館で下記のとおり特別展が開催されますので、児童及び生徒の鑑賞について特段の御配慮をお願いします。

記

1 展覧会名

特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 B I B で出会う絵本のいま」

2 開催趣旨

ブラティスラヴァ世界絵本原画展(略称B I B=Biennial of Illustrations Bratislava)は、スロヴァキア共和国の首都・ブラティスラヴァで2年ごとに開催される世界最大規模の絵本原画展であり、出版された絵本の原画を審査対象とし、芸術性の高い作品、実験的でユニークな作品が集まることでも知られている。日本からも、これまでに多くの受賞者が生まれており、2017年秋に開催されたB I B 2017では、荒井真紀さんが《たんぽぽ》で金のりんご賞を、ミロコマチコさんが《けもののおいがしてきたぞ》で金牌を受賞している。

本特別展では、B I B 2017の受賞作品と日本からの参加作品を展示するとともに、近年新たな展開を見せているアジアや中東の絵本を紹介しており、多様性に富んだ世界の絵本原画の現在をご覧いただくことができる。

13年ぶりに奈良にお目見えするB I B展。絵本原画を通して、子どもも大人も、誰もが絵本とイラストレーションに親しむことができる絶好の機会としていただきたい。

3 開催場所

奈良県立美術館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

TEL 0742-23-3968

4 会期等

会期 平成30年10月6日(土)～平成30年12月2日(日)

休館日 月曜日。ただし、10月8日(月・祝)は開館し、9日(火)は休館
10月29日(月)、11月5日(月)は開館

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

5 観覧料

一般 800円(600円)

大・高生 600円(400円)

中学生 400円(200円) ※ ()内は団体料金(20人以上)

※次の方は無料

(1) 小学生以下の方

(2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方1人

(2) 外国人観光客(長期滞在者・留学生を含む)と付添の観光ボランティアガイドの方

6 関連事業(※ミュージアム・コンサート以外は観覧券が必要)

(1) 絵本セミナー「BIBと絵本制作の舞台裏」(共催:絵本学会)

ゲスト 絵本作家 こしだ ミカ

絵本編集者 筒井 大介 ほか

日時 11月18日(日)

午後1時～午後4時30分(午後12時30分受付開始)

定員80人 受講料500円

会場 レクチャールーム

(2) 美術講座「絵本原画から見る世界の文化」

講師 当館主任学芸員 飯島 礼子

日時 11月23日(金・祝)

午後2時～午後3時30分(午後1時30分受付開始) 定員80人

会場 レクチャールーム

(3) 絵本のおなはし会(協力:奈良子どもの本連絡会 ほか)

日時 毎週土曜日

午後1時30分～/午後3時～(1回30分程度)

会場 絵本のひろば内

- (4) 絵本のひろば（協力：奈良教育大学図書館 えほんのひろば）
開館中いつでも絵本を見ることができます。

- (5) ギャラリー・トーク

講師 当館学芸員

日時 10月13日（土）、10月27日（土）、11月10日（土）、
11月24日（土）
午前11時～（1時間程度）

会場 展示室

- (6) 体験コーナー「絵本をつくってみよう！」

日時 10月14日（日）、10月28日（日）、11月11日（日）、
11月25日（日）
午前10時30分～（随時）

- (7) ミュージアム・コンサート（※観覧無料）

7 連携展示（※観覧無料）

奈良県野迫川村による連携展示「天空の國 のせ川モノがたり」

スロヴァキア共和国・ビソケ・タトリ市と姉妹都市協定を結び国際交流を続けてきた野迫川村の魅力を紹介する。

会場 ギャラリースペース

各市町村教委教育長
各中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

殿

奈良県教育委員会教育長

平成31年度高等学校等進学予定者に対する 育成奨学金の予約申請について（通知）

平成31年4月に高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）又は専修学校の高等課程（奈良県高等学校等奨学金貸与条例施行規則に定めるものに限る。）への進学予定者で、入学後「育成奨学金」の貸与を希望する者に対する予約申請を下記により受け付けますので、生徒への周知及び申請についてよろしくお願いします。

記

1 募集概要

(1) 申込資格

ア 平成31年4月に高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）又は専修学校の高等課程（奈良県高等学校等奨学金貸与条例施行規則に定めるものに限る。）に進学を希望している者

イ 親権者又は未成年後見人が県内に住所を有している者

ウ 向学心に富み、学習態度及び学習状況が良好であると認められる者

エ 経済的理由により、修学が困難と認められる者

オ 地方公共団体その他公共的団体から、学資の貸与又は給付を受けていない者

（注1）アについて・・・特別支援学校への就学奨励に関する法律（昭和29年法律第144号）による経費の支給を受けている者へは貸与できない。

ウについて・・・学習成績の評定を全履修科目について平均した値が3.0以上であること（5段階評価、小数第2位四捨五入）。中学校第3学

年における予約申請においては、中学校第1学年から第2学年までの全履修科目の評定平均値とする。

エについて・・・育成奨学金は、特に意欲があると認められる場合には、予算の範囲内で生活保護基準の3.0倍以内を条件としているが、予約申請については1.5倍以内とする。

(2) 受付期間

平成30年10月1日(月)～平成30年10月31日(水) (必着)

(3) 募集人数

100名以内

(4) 推薦及び提出書類

ア 中学校長、中等教育学校長及び特別支援学校長（以下「中学校長等」という。）は、奨学金貸与希望者のうち上記(1)申込資格に合致すると認められたものについて、この奨学金は返還が必要であること及びその返還金が新たな奨学生の貸付原資になることを本人及び親権者等に周知のうえ推薦すること。

イ 推薦に際しては、予約申請者より次の書類を提出させること。

(ア) 「**育成奨学金貸与予約申請書**」（親権者又は未成年後見人が連署したもの。）

(イ) **住民票謄本（世帯全員）**（記載事項欄の省略のないもの。本籍地・マイナンバーは必要ない。）

(ウ) **所得に関する市町村長発行の平成30年度課税証明書**（注2）

（注2）所得金額、扶養人数、社会保険料等の控除金額及び課税金額の記載されたもの。

非課税証明の場合は非課税理由が記載されたもの。原則として世帯構成員全員分が必要であるが、被扶養者であることが課税証明等で確認できる者の分は不要。生活保護を受けている世帯は、生活保護受給証明書又は生活保護決定通知書の写しが必要（世帯全員の氏名を確認のこと。記載ない者は、上記の所得に関する証明書が必要）。

ウ 中学校長等は、前記（ア）（イ）（ウ）に加え、「**奈良県高等学校等奨学金（育成奨学金）予約推薦書**」・「**奈良県高等学校等奨学金（育成奨学金）予約申請者一覧表**」を作成し、奈良県教育委員会事務局学校支援課授業料奨学金係へ提出すること。

(5) 予約採用者の選考

奈良県教育委員会において審査を行い、予約を認める場合は「育成奨学金貸与内定通知書」（以下「内定通知書」という。）を学校へ送付する。（12月頃の予定）

2 本採用手続

「内定通知書」を受け取った者は、平成31年4月に高等学校又は専修学校の高等課程に

入学した後、速やかにその「内定通知書」を入学した学校へ提示するとともに育成奨学金の新規申請手続きを行うこと。

3 貸与月額（平成30年度実績。無利子での貸与）

国公立	18,000円（5,000円）
私立	30,000円（17,000円）
自宅外加算	5,000円（5,000円）
へき地加算（へき地自宅通学者のみ）	12,000円（－）

※（ ）内金額は、生活保護高等学校等就学費の受給者への貸与額

4 返還について

奨学金の貸与を受けている者が、卒業又は退学したときは、その月の翌月から6か月を経過した後、10年間の均等払いで返還する（一括返還も可能）。

<3年間貸与者の返還額の例>

貸与区分（自宅通学者）	貸与総額	半年賦の返還額	月賦の返還額
国公立	648,000円	32,400円	5,400円
私立	1,080,000円	54,000円	9,000円

※次の場合、申請によって返還が猶予（返還の開始時期を一定期間先へ延期）となる。

- ① 本人が高校・高専、短大・大学・大学院、専修学校等に在学している場合
- ② 本人が、疾病や災害、その他やむを得ない特別な事情等で一時的に返還が困難になった場合

5 その他

申請に必要な用紙等については、説明会にて配布又は郵送している資料を複写すること。資料がない場合は下記まで問合せること。

奈良県教育委員会事務局学校支援課 授業料奨学金係

〒630-8502 奈良市登大路町30番地

TEL 0742-27-9859

FAX 0742-27-2985

URL <http://www.pref.nara.jp/12733.htm>

各市町村教委教育長
各小学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度奈良県小学校理科学習指導研究会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願
い
します。

記

1 趣 旨

学習指導要領の趣旨に基づき、児童が主体的に問題解決学習に取り組む授業の研究を行い、
教員の指導力の向上を図るとともに、理科学習指導の充実、振興に役立てる。

2 研究主題

子どもの学びの道筋を生かす理科学習

3 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校理科教育研究会

4 期日及び会場

平成30年10月30日（火）

奈良市立済美小学校

5 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

6 日 程

13：15～13：25 日程説明

13：30～14：15 公開授業

14：30～14：45 開会行事

14 : 45 ~ 15 : 10 指導助言

15 : 15 ~ 16 : 45 講演

16 : 45 ~ 16 : 55 閉会行事

7 公開授業

学年・組	教科	単元名	指導者
1年2組	生活科	たのしもう あき	西田 妙子
2年3組	生活科	つくろう あそぼう くふうしよう	草合 麻有子
3年1組	理科	電気で明かりをつけよう	上垣内 早紀
4年2組	理科	ものの温度と体積	西嶋 真希
5年1組	理科	もののとけ方	吉田 剛
6年1組	理科	てこのはたらき	松田 光博

8 指導助言者

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 富倉 勇

奈良女子大学附属小学校 主幹教諭 杉澤 学

9 講演

演題 「新学習指導要領で目指す『主体的・対話的で深い学び』の授業とは」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 鳴川 哲也

10 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成30年10月19日（金）までに下記宛てFAX又は郵送で申し込むこと。

〒636-0001 北葛城郡王寺町舟戸3-7-18

王寺町立王寺北小学校 教諭 吉川 和伸

FAX 0745-31-2702

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

第62回奈良県へき地教育研究振興大会 上北山村・下北山村大会の開催について(通知)

このことについて、下記により開催しますので、関係者の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

人間性豊かで、たくましく生きる子どもを育てる教育の実践について研究するとともに、へき地が直面する教育上の諸問題について研究協議し、へき地教育の振興と充実を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県へき地教育振興協議会、奈良県へき地・小規模校教育研究連盟、上北山村教育委員会、下北山村教育委員会

3 期 日

平成30年10月26日(金)

4 大会主題

ふるさとでの学びに自信と誇りをもち、自ら未来を切り拓く北山っ子の育成

5 会場及び日程等

(1) 分科会

分科会会場別研究テーマ及び日程

分科会	会 場	研究テーマ	日 程
1	上北山村立 上北山中学校	「一人一人を生かし、自主的・主体的に学ぶ意欲を育てる」 ～伝え合う力・コミュニケーション能力の育成をめざして～	9:20～ 9:30 日程説明 9:30～10:20 公開授業 1年 英語科 2年 道徳 3年 数学科 10:40～11:00 児童生徒発表 11:00～11:10 開会行事 11:10～11:35 研究発表 11:35～12:00 研究協議 指導助言 12:00～12:10 閉会行事
2	下北山村立 下北山小学校	「コミュニケーション能力の育成」 ～下北山メソッドで、みえる ひろがる 授業づくり～	8:50～ 9:00 日程説明 9:00～ 9:45 公開授業 1年、2年合同 道徳科 3年、4年合同 道徳科 6年 道徳科 9:55～10:10 児童発表 10:20～10:30 開会行事 10:30～10:50 研究発表 10:50～11:10 研究協議 指導助言 11:10～11:20 閉会行事
3	下北山スポーツ公園 若者センター	心豊かでたくましい北山っ子を 育てるPTA活動	9:20～ 9:30 日程説明 9:30～ 9:40 開会行事 9:40～10:10 研究発表 10:20～10:50 研究協議 指導助言 10:50～11:00 閉会行事

(2) 全体会

会 場 上北山村立上北山中学校

日 程 13:30～14:20 開会行事・功労者表彰

14:30～15:40 記念講演

演題 「『世界遺産』大峯奥駈道の文化と歴史」

～笹ノ窟発掘から見えてくる北山郷～

講師 奈良県立橿原考古学研究所長 菅谷 文則

15:40～16:00 閉会行事

6 参加申込み

平成30年4月5日付け週報2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名、参加分科会((A)項目欄)、分科会での昼食希望の有無((B)項目欄)を記入の上、9月25日(火)までに郵送又はFAXで下記宛て申し込むこと。

〒639-3701 奈良県吉野郡上北山村河合107

上北山村教育委員会事務局内

第62回奈良県へき地教育研究振興大会実行委員会事務局

TEL 07468-2-0066

FAX 07468-2-0360

7 その他

昼食を希望する場合は、参加申込みとともに昼食代金1,000円を下記の口座に振り込むこと。
なお、昼食は必ず参加申込みをした分科会場で受け取ること。

金融機関名	ゆうちょ銀行
支店名	四五八
口座番号	普通 2448057
口座名義	第62回奈良県へき地教育研究振興大会実行委員会

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度奈良県小・中学校道德教育 授業研究会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

道德教育の深化・充実を図るため、道德科並びに道德の時間の指導上の諸問題について授業を通して研究し、教員の指導力の向上に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県道德教育研究協議会

3 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

4 期日及び会場等

部 会	期 日	会 場	日 程
小 学 校	10月29日（月）	奈良市立三碓小学校	日程説明 12:45～12:55 授業公開 13:00～13:45 研究協議 14:00～16:00
中 学 校	10月12日（金）	河合町立河合第二中学校	日程説明 13:45～13:55 授業公開 14:00～14:50 研究協議 15:00～16:30

5 主題及び研究協議内容等

部 会		主題等及び指導者	研究協議内容	指導助言者
小 学 校	低 学 年	第1学年 主題名 よいこと・ただしいことは すすんで 低A（善悪の判断、自律、 自由と責任） 教材名 「やめなさいよ」 奈良市立三碓小学校 辰田 吏沙	考え、議論する道	奈良市立鶴舞小学校 校長 信田 和則 県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 丹下 博幸
	高 学 年	第4学年 主題名 自分がかがやかせて 中A（個性の伸長） 教材名 「みんなちがって、みんな いい」 奈良市立三碓小学校 岡田 広美		徳科の創造
中 学 校		第2学年 主題名 どうして決まりは守らなけ ればならないか C（遵法精神、公德心） 教材名 「二通の手紙」 河合町立河合第二中学校 中尾 雅美	生き方の自覚を深 め、自他の関係や社 会との関わりを大切 にした道徳の時間の 創造	香芝市立五位堂小学校 校長 関川 圭造 県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 丹下 博幸

6 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名、氏名、参加部会名（(A)項目欄）を記入の上、各部会開催の3日前までに郵送又はFAXで下記宛て申

し込むこと。

小学校 〒636-0312 磯城郡田原本町新町48

田原本町立田原本小学校 教諭 齋藤 亮一

F A X 0 7 4 4 - 3 2 - 4 8 0 2

中学校 〒635-0132 高市郡高取町森30

高取町立高取中学校 教諭 車谷 泰典

F A X 0 7 4 4 - 5 2 - 2 7 6 0

7 その他

- (1) 中学校部会会場（河合町立河合第二中学校）には、駐車スペースがないので、公共交通機関を利用すること。
- (2) 上履きを持参すること。

各市町村教委教育長
各 中 学 校 長
各 中 等 教 育 学 校 長
各 特 別 支 援 学 校 長

殿

奈良県教育委員会教育長

平成30年度奈良県中学校特別活動研究大会の 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

生徒・学校・地域の実態に即した特別活動の在り方について研究発表及び協議を行い、特別活動の現状と課題を明らかにするとともに、本県における特別活動の充実と振興に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良県中学校教科等研究会特別活動部会

3 日時及び会場

平成30年10月26日（金） 10時から16時まで

奈良市立富雄南中学校

4 参加対象者

県内中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の教員

5 研究主題

「生徒の自主的・主体的な態度を育てる特別活動」

6 内容等

(1) 日 程

9：45～10：00 受付

10:00～10:15 開会行事
10:25～12:00 実践報告・研究協議①
13:15～14:25 公開授業
14:35～15:45 研究協議②
15:45～16:00 閉会行事

(2) 公開授業

「生徒会役員選挙立会演説会」

(3) 実践報告

・「生徒の自主的・主体的な態度を育てる特別活動 ～班活動を生かした学級活動の取組～」

橿原市立白樫中学校 教諭 豊永 拓大

・「学級や学校、地域における生活づくりへの参画 ～清掃活動の取組～」

曾爾村立曾爾中学校 教諭 大味 祐一郎

(4) 指導助言

県教育委員会事務局生徒指導支援室 指導主事 葛木 孝則

7 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、職名・氏名を記入の上、平成30年10月15日(月)までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒634-0828 橿原市古川町20番地

橿原市立光陽中学校 教諭 堀川 宜篤

TEL 0744-27-1241

FAX 0744-27-6574

8 その他

当日の午前7時現在で奈良市に警報が発表されている場合は、本大会の開催を中止する。

各市町村教委教育長
各中・高等学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長
高等専門学校長

殿

奈良県教育委員会教育長

平成 3 0 年度中学校・高等学校生徒指導連絡協議会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者に周知されるとともに参加について
よろしく申し上げます。

記

1 目 的

県内中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校の生徒指導担当者が、
生徒指導上の諸問題について研究協議を行い、本県生徒指導の充実を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校生徒指導研究会、奈良県高等学校生徒指導研究協議会

3 日時及び会場

平成 3 0 年 1 0 月 1 6 日（火） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

4 参加対象者

県内中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校の生徒指導担当者

5 日 程

1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 0 開会行事

1 3 : 4 0 ~ 1 5 : 1 0 講演

1 5 : 2 0 ~ 1 6 : 2 0 分散会（講演を受けて、グループディスカッション）

1 6 : 2 0 ~ 1 6 : 3 0 閉会行事

6 講演

演題 「スマホ時代の子供の現状と対策 ～事例から考える、学校での取組～」

講師 特定非営利活動法人奈良地域の学び推進機構 理事 石川 千明

7 指導助言

奈良県高等学校生徒指導研究協議会 会長 匠原 記世子

奈良県中学校生徒指導研究会 会長 久保 雅靖

県教育委員会事務局生徒指導支援室生徒指導係 係長 高木 一矢

〃 生徒指導係 指導主事 村井 博樹

〃 生徒指導係 指導主事 葛木 孝則

〃 生徒指導係 指導主事 丸上 晶

8 参加申込み

平成30年4月5日付け週報第2291号掲載の参加基本様式により、平成30年10月2日（火）までに下記宛てFAX又は電子メールで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局生徒指導支援室 生徒指導係

TEL 0742-27-5435

FAX 0742-27-1021

各市町村教委教育長
各学校（園）長
学校以外の各県立教育機関の長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

2019年度奈良県立野外活動センターの 利用申込み（団体）について（通知）

このことについて、下記により受け付けますので、関係者への周知についてよろしくお願ひします。

記

1 利用対象者

- (1) 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の幼児・児童・生徒並びに短期大学、大学及び専門学校の学生の団体
- (2) 社会教育団体
- (3) 勤労青少年の健全育成を目的とする団体
- (4) 企業等の研修を行う機関・団体
- (5) 青少年指導者育成の講習会及び研修会等を行う団体
- (6) その他野外活動センター（以下「センター」という。）所長が認めたもの

2 申込方法

所定の「利用申込書」に必要事項を記入の上、申込期間中、電子メール、郵送、FAX又は持参にて提出すること。ただし、承認決定日以降においても、施設に余裕があれば、申込みは随時受け付ける。その場合は、原則として利用承認は「利用申込書」の先着順となるので、あらかじめ利用の可否を電話で問い合わせの上、申し込むこと。

なお、「利用申込書」以外での申込みは不可。

（「利用申込書」の入手方法）

センターホームページ（<http://www.pref.nara.jp/31607.htm>）から入手すること。

また、「利用申込書」については、郵送、FAX及びセンターでの直接配布も行っている。

3 利用申込期間及び承認決定日等

利用期間	申込期間	承認決定日	事前打合せ日
2019年4月1日 ～2020年3月31日	2018年10月1日 ～2018年10月31日	2018年 12月1日以降	センターから連絡

※利用希望日の申込人数が定員を超える場合は、学校団体、県内団体を優先する。

4 利用申込書の記入方法

(1) 利用希望日及び宿泊希望施設

ア 利用申込にあたってはセンターのホームページの「利用団体受入れ日表」を参照すること。

イ 利用希望日及び宿泊希望施設は全て記入すること。未記入の場合は受付不可。

ウ 以下にあげる日は利用希望が集中するため、利用を希望する3通りの日程パターン全てにこの日を含んでいる場合、再度利用申込書の提出を依頼する場合がありますので、あらかじめ他の日程を検討しておくこと。

利用希望の集中が予想される日

5月9日、16日、23日、30日、6月6日、13日（いずれも木曜日）

7月6日、20日、27日、8月3日、10日、17日、24日（いずれも土曜日）

エ 「森林体験山もり・てんこ森（7月15日）」準備のため、7月13日（土）～14日（日）は利用を制限する。この日程を希望する場合は、個別に相談すること。

(2) 活動計画（プログラム）

ア 諸活動は団体が主体的に実施すること。

イ 入退所は、原則として9時～16時までの間とする。

ウ 団体は、以下に示したセンターの標準生活時間を参考に計画を立てること。未記入の場合は、希望日時や活動場所が取れず、活動に支障が生じることがあるので、必ず記入すること。

6:00 6:30 7:00 7:30 9:00 12:00 13:30 16:30 17:00 21:30 22:00

起床	朝の集い (独自)	清掃 (荷物移動)	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	代表者 打合せ	夜間の活動	就寝準備	就寝
								夕食		
シャワー										

- エ 午前・午後及び夜間の活動は、具体的なプログラムを必ず記入すること。
- オ 団体の活動は原則 2 2時に終了すること。
- カ 食事については、自炊もしくは弁当等のいずれかを明記すること。
なお、自炊材料・弁当等については業者を斡旋する。
- キ 初めての利用希望団体は事前に施設見学が必要となるため、希望の日時を連絡すること。

(3) 施設使用料

施設使用料は無料（ただし、シーツのレンタル代等の実費分は有料）

5 宿泊定員

施設名	最大収容人数
木造ロッジ（バードロッジ）	32人（8人×4棟）
（マウントロッジ）	72人（9人×8棟）
第1サイト（常設テント）	68人（6人×3張、10人×5張）
（木造大型ロッジ）	50人（50人×1棟）
第2サイト（常設テント）	70人（6人×5張、10人×4張）
第3サイト（ログハウス）	60人（6人×10棟）
計	352人

※ テントサイトは床（すのこ）付き

6 利用承認と事前打合せ

(1) 利用承認

申込期間中に受け付けた全ての団体に対して、利用日や利用場所をプログラム調整の上決定し、通知する。なお、承認決定日以降の利用申込団体については、先着順に承認し通知する。

(2) 合同事前打合せ

利用承認を受けた団体については、事前打合会を実施する。日程は利用日の前月上旬とし、詳細についてはセンターから通知する。

7 「利用申込書」提出先

〒632-0231 奈良市都祁吐山町 2 0 4 0 番地
 県立野外活動センター 総務・活動支援係
 TEL 0743-82-0508
 FAX 0743-82-2026
 URL <http://www.pref.nara.jp/31607.htm>

奈良県立野外活動センター **利用申込書**

FAXによる宛先 奈良県立野外活動センター
To FAX **0743-82-2026**

使用団体名 _____
団体所在地 〒 _____
電話(_____)

以前にセンター利用: 有 ・ 無 _____

利用目的 1、野外教育 2、研修会・講習会 3、クラブ活動 4、親睦 5、指導者養成 6、その他()

利用者種別 および人員	参加者		指導者		合計	総数	団体 構成員 種別	園児	小学生	中学生	高校生
	男	人	人	人	人			人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	大学生	勤労青少年(24歳以下)	その他(25歳以上)		
							人	人	人	人	人

利用希望日 (3ヶ月前記入)
 ☆ 年 月 日 () 時 ~ 月 日 () 時 日 泊 日
 ☆ 年 月 日 () 時 ~ 月 日 () 時 日 泊 日
 ☆ 年 月 日 () 時 ~ 月 日 () 時 日 泊 日

利用(宿泊)希望サイト (3ヶ月前記入)
 ★ 第(1)センター() サイト名 (第1センター) ※()内は最大宿泊人数
 ★ 第(1)センター() 1マウントロッジ(72) 2バードロッジ(32)
 ★ 第(1)センター() 3大型ロッジ「魚座」(50) テントサイト(4) 1サイト(68) 52サイト(70)
 6ログハウス(60)

活 動 内 容

計画	時間	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																					食 事	
																							種 別	○をつけてください
第1日目	晴天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	
第2日目	荒天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	
第3日目	晴天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	
第4日目	荒天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	
第5日目	晴天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	
第6日目	荒天																						朝食	自炊 弁当 サンドS
																								食数
	場所																						自炊メニュー	

研修についての希望事項(研修場所・指導依頼等)

上記のとおり利用したいので申込みます。
 平成 年 月 日
 奈良県立野外活動センター所長殿
 代表者・氏名

引率責任者の氏名及び連絡先(団体所在地欄と同じ場合は同上)
 氏名: _____
 住所: 〒 _____
 電話: _____ FAX: _____
 携帯: _____
 E-MAIL: _____

※FAXの場合はご一報ください。 ※お問い合わせは野外活動センター総務・活動支援係TEL0743-82-0506まで

教体第288号

平成30年9月6日

各市町村教委教育長 }
各小学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

第52回奈良県小学生陸上競技記録会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、児童の参加についてよろしく申し上げます。

記

1 趣 旨

県内小学生が一堂に会して陸上運動に親しむ機会を提供し、児童の体力向上及び生涯にわたって運動・スポーツに親しむ資質や能力を育成するとともに、陸上競技の普及を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県体力向上推進連絡会

3 主 管

奈良陸上競技協会、奈良県小学校体育研究会

4 期 日

平成30年12月2日（日） 小雨決行

午前9時15分開会式 午前10時競技開始

5 会 場

ならでんフィールド（鴻ノ池陸上競技場） 奈良市法蓮佐保山四丁目5番1号

6 参加対象者

県内の小学校に在籍し、次項記載の種目に出場できる体力を有する第5・6学年の児童であり、学校長及び保護者の承認を得て、当日は、在籍する学校の教員の引率・指導の下、参加する者であること。

7 種目及び参加人数

100m、200m、4×100mリレー、走り幅跳び、走り高跳び

※1校各学年男女ごとに100mは8名以内、200mは4名以内、走り幅跳びは6名以内、

走り高跳びは4名以内、リレーは5年・6年・男・女それぞれ1チーム(計4チーム)で、
出場種目は一人1種目とする。(リレーは兼ねてもよい。)

※出場者は胸部にゼッケンをつけること。

8 競技方法

(1) 走種目

数名のグループで走り、記録を測定する。

(2) 跳種目

走り幅跳び・・・3回計測。踏切ゾーン先端から着地までを直角測定する。(正式計測)

走り高跳び・・・5年生は95cmから、6年生は100cmから計測を開始し、
5cmごとにバーを上げる。

背面跳びや背面跳びに似た跳び方、ベリーロールは禁止する。また、
けが防止のため、事前の指導及び練習を十分行うこと。

9 表彰

参加児童全員に記録証を授与する。

10 申込み

各郡市の小学校体育研究会体育活動部陸上担当理事宛て、10月10日(水)までに申し込むこと。申込様式は、県小学校体育研究会のホームページよりファイルをダウンロードすること。

<http://shotaiken.web.fc2.com/>

※締切後の申込みや変更、参加人数等に合わない者の参加は認めない。

申込先(各郡市の小学校体育研究会体育活動部陸上担当理事)

郡 市 名	担 当 理 事	学 校 名
奈 良 市	新 矢 貴 司	富 雄 南 小 学 校
大 和 高 田 市	山 田 健 吾	陵 西 小 学 校
大 和 郡 山 市	草 川 雄 太 郎	郡 山 西 小 学 校
天 理 市	佐 藤 雅 照	二 階 堂 小 学 校
橿 原 市 ・ 高 市 郡	久 保 利 和 人	真 菅 北 小 学 校
桜 井 市	吉 岡 光 一	織 田 小 学 校
五 條 市	上 島 崇	五 條 小 学 校
御 所 市	新 子 潤	御 所 小 学 校
生 駒 市	正 田 勝 之	生 駒 南 小 学 校
香 芝 市	青 山 哲	二 上 小 学 校
葛 城 市	村 田 圭 史	當 麻 小 学 校
宇 陀 市	磯 川 忠 志	榛 原 西 小 学 校

宇陀郡	淵上真	御杖小学校
山辺郡	今西秀規	やまぞえ小学校
生駒郡	廣瀬智也	三郷小学校
磯城郡	西谷直樹	川西小学校
北葛城郡	廣野泰清	王寺小学校
吉野郡(東)	小市和美	吉野北小学校
吉野郡(西)	中村智	野迫川小学校
国立・私立	今岡敬二	帝塚山小学校

11 その他

- (1) 出場する児童は事前に必ず医師の検診を受けておくこと。
- (2) 競技中の負傷などについては、応急処置は行うが、その後の責任は負わない。
- (3) 雨天等による中止の場合は、午前6時30分以降に参加校に連絡する。
- (4) ならでんフィールドは、午前8時30分に開門する。
- (5) 本記録会における個人情報及び肖像権(写真・映像等)に関する取扱いについて、各参加校において保護者の承諾を得ること。また、個人情報の公表に同意されない申出がある場合は、各郡市の小学校体育研究会体育活動部陸上担当理事に連絡し、その意思を尊重して対応する。
- (6) 交通手段については、公共交通機関を利用すること。また、各参加校で保護者にも周知徹底すること。
- (7) 本記録会開催に係る詳細については、別途奈良県小学校体育研究会からの連絡文書を参考にすること。